

## 第18回 能美市タウンミーティング（子育て）

平成29年12月12日（火）10:00～

子育て支援センター

### 【司会】

ただいまから、市長と語ろう子育てタウンミーティングを始めさせていただきます。まず初めに、井出市長がご挨拶を申し上げます。

### 【井出市長】

雪が降る中、ちょっと心配していたのですが、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

私も、26と24と20歳の息子がいる父親です。

能美市では、最近人口がふえつつあります。それから、企業誘致が好調で、全体的に追い風の状況です。そして、子育て環境がとってもいいと言われています。例えば、保育園や児童館が充実していて、そして、お子さんやお母さん方がお悩みのとき、ちょっと集まりたいなと思うようなときに集う場所があり、ソフト面、ハード面も充実していると言われています。本当にそうなのかなという思いがあって、きょう、皆さん方に集まっていたきました。

ここのようにいろんな設備、それから、集う場所がありますが、皆さんにとって、使い勝手が本当にいいのか、もっとこんなものがあつたらいいのではないか、こんなことをしてくれたらいいなというご意見がありましたらお願いします。それから、パンフレットに書いてある事業を皆さんご存じなのか、もっと皆さんに利用していただくために、どんなパンフレットをつくったら利用しやすいのかといったことをいろいろ教えていただければと思います。

何しろ、お子さんやお母さん方にいつも笑顔で過ごしてもらえるような、そんな能美市にしたいと思っていますので、忌憚のないご意見をいただければと思います。

### 【司会】

それでは、能美市で安心して子育てができる環境をつくるための政策に反映される、そのような意見交換ができればと思っていますので、皆さんが日ごろ子育てをしている中で思ったこと、感じていることをお話しいただければと思います。

まず、子育て支援センター長から、多くのお母さんと接する中で見えてきた能美市の子育ての現状を説明してもらいたいと思います。

#### 【子育て支援センター長】

子育て支援センターを利用しているのは、核家族の方が多いです。そしておじいちゃん、おばあちゃんが近くにおらず、ご主人は朝早く仕事に出かけて夜遅くまで帰ってこない、あるいは単身赴任であるという方もいます。そんな中で、お母さんがお一人で子育てを頑張っているなという印象を受けています。

また、ご近所にもなかなか知り合いがいないということになると、子育てのちょっとした聞きたいことがすぐに聞けないと思います。例えば、寒くなってくると、お洋服を何枚ぐらい着せたらいいのか、エアコンの温度は何度に設定しておけばいいのかといったことや、おっぱいが足りているかなといった、そんなに深刻なことではないけど、ちょっとしたことがたくさんあると思います。特に、子育てが初めての方は、わからないことがたくさんあると思います。

その都度、それでいいと思う、私もこうしているよと答えてくれる人がいる方はそこで解決できると思いますが、周りにそういう方がいないと、そういうちょっとした疑問が積み重なっていき、それが不安な気持ちになってしまうと思います。

最近はインターネットなどでいろいろ検索もできますが、調べると情報がたくさんありすぎて、なお不安になったという声も多くあります。自分のやり方が悪いのではないかと考え、自信が持てなくなってしまうことがあるのではと心配しています。

こういうところに来てくだされば、職員がお話を聞くこともできるし、子育てしている仲間に出会うことができると思います。同じ子育てしているお母さん同士で、うちもそうだったよ、それって大変だね、などと言ってもらえると、気持ちもすっきりしてまた子育て頑張ろうという気持ちになれると思います。

今、市長も言われましたが、子育て支援センターや児童館など、能美市にはたくさん利用できる場所があります。子供と一緒に安心して出かけられる場所がたくさんあること、相談できる人が周りにいるということが大切だと感じています。

#### 【司会】

今、子育て支援センター長から、日ごろ、お母さん方からお聞きしていることをまとめてお伝えしてもらいました。お母さん方はそれぞれ思っていることがたくさんあると思います。いかがですか。

**【市民】**

3人の子供がいて、一番上は小学生です。すごく児童館が好きで、いつも行っています。遊ぶ場がすごくたくさんあって、近くにあるので、毎日行きたいって言っています。根上地区で、昔は日曜日も開館していましたが、今は日曜日に開館しているのは根上中央児童館だけになって、ちょっとその辺、寂しがっています。日曜日も開館していたらうれしいなと思います。

保育園の子供もいます。保育園に安心して預けられるし、待機児童がないということも、すごく安心です。やっぱり、子供をたくさんにするには、お母さんも働かないといけないと思うので、保育園に預けることができるということが（重要です）、何というか、能美市にはイベントも結構あるし、図書館もあり、すごく活用しているので、これまでどおり子育て支援をお願いします。

**【井出市長】**

何か、不都合だなと感じていらっしゃることはないですか？

**【市民】**

最初の妊娠のときに、知り合いが本当にいなくて不安でした。妊婦の教室などもありますが、平日の夜や日中だけでした。私は働いていたので、土曜日にも参加できたらと思いました。働くお母さんも結構いると思います。私は1人目のとき、1回も利用せず、2人目のときに初めて参加して、ほかのお母さんたちと話すことができ、1人目も来ればよかったと思いました。不安な気持ちのときがあったのでそう思いました。

**【井出市長】**

なるほど、わかりました。ありがとうございました。

**【市民】**

私は結婚5年目で4歳の娘と1歳の息子の母親です。働いている視点とはちょっと違って、能美市に来て5年目ということで、5年間の疑問が蓄積されているので、ちょっときょうはそれを発表しようと思って来ました。3点お願いします。

私は独身時代、教育の関係の仕事に従事していたことがありまして、どうしても子供、子育て環境ということに関して、小松市と能美市を比較して見てしまいます。そうすると、能美市というのは、先ほども言っていたように、児童館や子育て支援センターなど、子供の施設がとても充実していて、また、職員の方は向上心もあり、とても質の高い職員の方が多いと感じています。笑顔でさわやかに子供に接しています。また、教育熱心なお母さ

人が多いです。この教育熱心で、教育に対してお金を惜しまない、労力を惜しまない雰囲気というのは、いつごろ始まって、当たり前になっていったのはどういう理由があるのかなということが1点目です。

それから、このように教育熱心な地域にも関わらず、高校は寺井高校しかないです。小松と比べても、人口や面積比から見ても、少子化もありますが、ちょっと高校の数が、少ないのかなと思っています。その理由についてお聞きしたいということが2点目です。

3点目、高校がないということにも関係あるのかもしれませんが、いわゆるファストフード店、外資系のハンバーガーを食べるようなお店が極端に少ないです。お母さん方が、楽をしたいときなんかは市外まで行くことが大変かもしれません。それも何か、風紀を乱さないために、子供が立ち寄る場所を少なくしているなど、市が関係しているのか、この3点がすごく疑問に思います。

#### 【井出市長】

まず、子育て環境の整備がいつごろから始まったのかというお話です。能美市が合併して13年目を迎えます。合併した当時、保育園が老朽化している、また、住む地域が変わってきたということもあって、保育園の統廃合を進めていくところから始まっています。合併したときは、保育園は21園あったのですが、今は15園です。子育て環境を整備していくということで、保育園の統廃合を進めたり、児童館を新しくしたり、それから、ソフトの面で皆さんが集う場所をさらにふやしてきたりといったことが、子育て環境を充実させてきた生い立ちです。

それから、高校に関しては、これはとても難しいです。今、石川県というのは、能美市の人も能登の高校に行ったり、それから能登の人も寺井高校に来たりできます。昔は、金沢地区、加賀地区、能登地区と分かれていました。そんな中で、みんなが高校に行きやすいように整備をしていきました。加賀市の人や山手の人も一番行きやすいのは小松ということで、小松に高校が集中していきました。そうはいつでも、やっぱり、この能美地区でもたくさん要望があり、高校を作らないといけないということで寺井高校があります。逆に言うと、旧寺井町というところに寺井高校があったわけです。よく寺井町という小さいエリアに高校ができたなという、逆にそんな思いがあります。では今、寺井高校にたくさんの人たちが行っているのかというと、実は今、生徒集めに苦労しています。

それから、ファストフード店は私も欲しいなと思います。能美市としてそういったお店を全く拒んでいるわけではありません。その反面、スローフードが世の中ブームになって

いて、逆に言えば、ファストフードがないというところを能美市の特徴にしてもいいのかなと思います。そういった、本当に体にやさしいものを食べられるまちということで推し出していくのもおもしろいのではないかと考えています。ただ、私はファストフードに関してはノーと言っているわけではなく、もし、そんなお店が出店したいということであれば、ぜひ私も利用したいなと考えています。

#### 【市民】

能美市では体育大会や文化祭にも、すごく人が集まります。その気質というか、そういうのは、どういう理由だと思われませんか。

#### 【井出市長】

それは、やっぱり地域とのコミュニケーションを大切にしているまちだからだと思いますね。昔から、隣近所で仲がよく、隣近所のことを自分のことのように感じて一緒にやっという風土はあったと思います。だから、運動会や文化祭をすると、大体皆さん、集って出てきます。それから、昔からそこに住んでいる人たちだけではなく、よそから来た人たちも温かく迎える、そんな風土も残っていたと思います。私としては、よそから入ってきた人が入りやすくなるような環境づくりを進めていきたいと考えています。

#### 【市民】

本当に、皆さんがおっしゃるとおり、子育て環境に関しては満足しています。1点だけ気になっていることがあって来ました。私は教育関係の仕事をしていて、小松市や金沢市の様子を見ながら能美市を見たときに、能美市の保育園のソフト面について思うことがあります。こども園になっていると思いますが、正直それに追いついているのか、どうなのかということですか。

昔の保育園のような、子守というか、お母さんのかわりというところでは、本当に手厚い支援をしてくださっていると思います。これからの子供たちが生きていくときに身につけたい探求力や問題解決力を小学校からつけようと思ったときに、6歳までにしておくべきことは、やはり基本的な生活習慣をしっかりと自分でできるようになることだと思います。あとは、いろんな刺激を子供たちに与えて、いろいろな経験をさせてあげることだと思います。能美市の保育園を見たときに、果たしてというところがあって、おむつを外す、自分でお箸を使ってご飯を食べる、人の話をしっかり聞けるというところが、本当に6歳、小学校に入るまでにみんなが最低限身につけているのかと疑問に思います。あと、他の地域では体操教室だったり、園外保育だったりもあります。高校になると、英語で授業が行

われますが、金沢市ではもう小学校から英語教育がスタートしています。そういう中で子供たちが闘っていかないといけないときに能美市はどうかのだろうと、すごく不安に思います。

本当に能美市のいいところ、保育園全てが公立で能美市の管轄でできるので、そういうところを改善していくと、能美市全体の保育園がよくなると思います。そうすると、野々市や金沢市に住もうかなと思っていた人たちが、ここは待機児童もないし子育て環境もすごくいいということで来てくれるかもしれない、お母さんと二人三脚でやっていけるということが、また新しい市民の呼び込みになると思います。ぜひ、そのソフト面をいま一度考えていただけたらと思いました。

#### 【井出市長】

とってもいいご提案で、実は、そんなことを今見直し始めているところです。まず、先ほどいったように、ハードを整備して行って、つぎに、中身をもっと充実していかなければと思っています。それは、今までやっていたことだけで満足しているというだけでなく、まさにこのタウンミーティングで皆さん方からいろんなお話を聞いて、そして保育園や子育て支援センターの皆さんと相談しながらやっていきたいと思っています。ぜひまたそのようなことをおっしゃっていただければと思います。

実際、金沢市や野々市市や小松市の取り組みについて調査を始めていますので、また、皆さんと相談しながらそんなメニューをつくっていきたいと思います。

#### 【市民】

私は保育士で現在育児休暇をいただいています。保育士という立場、お母さんという立場の両方から、中からも外からも見て、子育て環境に関しては、やっぱりすごく整っているなと思います。先ほど出ていたソフト面についてはもう少し何かしたいなと保育士が思ったとしても、人手不足で時間が取れないということがあります。また、家に帰ったとき、自分の家庭の子育て環境に関しても、夫は朝早く出勤して夜遅くまでいません、加えて私は市外から来ていて、1人で全部やっていく環境です。育休が終わったら、すごく不安があります。なかなか、現場にいるときは声が出せなかったのですが、ソフト面では、教育に関して集団で力を合わせて物事を解決していくということがもう少しあってもいいなと正直思っています。もともと、私は金沢市で私立の幼稚園教員をしまして、そこはそういう教育をするところでした。どの子もクラスの中で自分の居場所があります。行事を流れるように行うのではなく、みんなで何をしようかと相談して、みんなが納得して取り

組んで、問題があったらみんなで解決するといったところでした。問題解決力など生きていく力の基礎となるところを、もうちょっと教育できたらなと思います。せっかく素敵な行事があっても、そのねらいがちょっとブレやすいかなと思います。行事などすることをたくさん抱えているのもあって、そこまで行きたくても行けない先生も多分いると思います。素敵な先生がたくさんいるのにもったいないなと思います。いかに当日、保護者に行事を喜んでもらうかを考えてしまうところもあり、忙しいとどうしても子供たちのケアができないときもあるのかなと思います。そういうところで、保育士をこれ以上ふやすというのは資金面で難しいのでしょうか。

もう一つは、自然保育についてです。私はこの1年の間に結構いろいろなところに出かけています。金沢の「おでかけさん」という野外保育をしているところや、能美市で活動している「のはら」という畝、畑、野菜をつくる場所などです。そういう活動を通しての取り組み、能美市の自然や里海里山の環境も生かした保育というのが地域に深く根づくといいなと思います。みんなで自然の中で思いっきり発散することがなかなか難しいので、列を乱さないようするといったことよりも、外へ行って、わーっと力を蓄えて帰ってくるようなところを保証してあげたいなと思います。そんな環境を保証することができるだけの保育士を配置するのは、きっと難しいとは思いますが。

#### 【井出市長】

とても素敵なお提案をいただきました。実は、うちの妻も6年前まで保育園の先生をされていて、その当時の仲間からの情報でそのような話も聞いています。普段子供たちやご家族と接していらっしゃる先生からもいろんな提案をいただけるように、そんな仕組みも考えていきたいなと思います。

それから、保育園の先生をふやすという話について、こちらもいろんな手を考えているのですが、なかなか募集しても来ていただけないという実態があります。大事なお子さんを預ける、お母さん方と接する保育園の先生には、やっぱり優秀な方を我々も採用したいなと思っています。そういうところのちょっとした狭間で苦労しているというのが実情です。でも、おっしゃっていただいたことはよくわかります。保育士についてしっかりと我々が把握できるように考えていきます。ありがとうございます。

#### 【市民】

私はもともと能美市出身で、結婚して金沢に出て、また能美市に戻ってきました。能美市は図書館がすごく充実しているなと思います。この人数に対してこれだけ立派な図書館

が3つもあるところは本当に全国的に見ても珍しいと思います。子供が生まれてからまた利用しています。自分で選ぶと、偏ってしまいますが、図書館の先生が薦めてくれた本も喜んでくれます。本好きにしたいなという気持ちをサポートしてくれるサービスが充実していて、いいなと思って利用しています。

図書館だけではなく、自然もすごく豊かなところがいいと思います。最近、歩くようになったので、そういう自然と触れ合うこともたくさんさせてあげたいなと思っています。私が小さいころは、和田山に遊びに行っていました。最近、おいっこを連れて登ってみたら、草をかき分けていかなければならない環境になっていました。もしかしたら、クマとか出るのかなとも思います。もし、新しくなったら行きたいと思ったので、またよろしくをお願いします。

#### 【井出市長】

能美市にはウォーキングコースがたくさんありますが、整備が追いついていないというのが現状で、そこは何とかしなければならないと思っています。

それから、和田山周辺の話なのですが、今、あそこに新博物館をつくる予定です。能美市には辰口に博物館があり、和田山のそばに歴史民俗史料館があるのですが、そこは建設から時間がたっており、手狭になっているので、今度新しい施設をつくりたいです。新博物館のテーマは、ふるさと愛の醸成ということで、皆さんに何度も来てもらえるような、そんな博物館にしたいと考えています。展示をずっと固定しているのではなく、入れかえて、新しくなったら行きたいと思ってもらえるような。小さなお子さんが遊べたりするようなコーナーもつくろうと思っています。それに合わせて、能美市にある古墳群をめぐってもらえるような、そんなコースをつくりたいとも思っています。その博物館をスタート地点にして、初級コースや中級コース、チャンピオンコースなどをつくって、回ってもらう。これはまだ自分の案なのですが、その際に古代の衣装を着てもらったり、顔にメイクしてもらったりして回ってもらう。そのときにはきちんと整備しますので、もう少々お待ちください。順次いたします。

#### 【市民】

さっきの保育園の話、ちょっと付け足しです。ソフト面もちろん充実させてほしいなと思いますけれども、ハード面も充実させてほしいなという思いがあります。自分の住んでいる校下の保育園は結構古く、自分がそこで育ったときと変わっていません。人数に対して狭そうだなと感じています。市内には古い保育が園幾つかありますが、古いのはとも



かく、子供がのびのび走り回って遊べる広さは大事だなと思います。1日のうち半分は保育園にいることを考えると、環境を充実してほしいと思っています。

それから、園開放が月1回か2回ありますが、せっかく地域の拠点になる保育園なので園開放の日がもっとあったらいいなと思います。人員のことなどもあると思うので難しいと思いますが、ふらっと寄れて近所のお母さんとコミュニティをつくれるような、つながりが持てる保育園になってほしいなと思っています。

#### 【井出市長】

なるほど。改修しなかった保育園についてですね。保育園は21園あったのが15園になりました。15のうちの7つは新築し、8つはまだ手がつけられていません。

順次、大規模改修で、きれいにしていきます。それから、傷んでいるところは適時、手を入れるようにしていますので、何か気がついたことがあれば、また私や職員に何なりとおっしゃっていただければと思います。

それから、園開放についてです。

#### 【子育て支援センター長】

現在は、園開放を定例で必ず月2回行っています。皆さんがよくご利用いただいている一時保育もあります。保育園に親子で訪れて、そこで一緒に遊ぶというものもあります。園開放の日だけに限らず、前もって保育園に、何日の日に遊びにいいですかとお伝えいただければ対応は十分可能です。お子さんだけを預ける一時保育だけではなく、お母さんもお子さんと一緒に保育園に行って、保育士がお子さんに関わっている様子を見ることができます。保育代行もちろん保育サービスの中に入っていますので、ぜひご利用していただければと思います。

#### 【市民】

今、そちらを初めて聞いたのですが、PRはどのようにされていますか。

#### 【子育て支援センター長】

マイ保育園や一時保育を利用されるときに、保育園から準備してほしいものやお手紙が渡されると思いますが、その中には案内が入っています。また、保育園にはチラシもありますし、保育園に遊びに行きたいですがいいですかとお伺いしていただいても大丈夫です。私も保育園にいたときに、未就園児の親子さんを対象に、ぜひ、入る前に遊びに来てくださいとお話していました。そうすれば、保育園でどういうふうに保育士が関わっているかということの間近で見ることができますし、体験もできます。ぜひ皆さん、利用してくだ

さい。

**【市民】**

今、根上に住んでいますが、勤め先は辰口地区です。辰口地区のほうが割と保育の環境が充実していると感じました。根上地区はちょっと公園が少なくて、遊びに行こうと思っても、歩いていける距離に公園が少ないと思います。贅沢なお願いですが、町単位で公園をつくってほしいなと思います。

**【市民】**

公園は子供だけじゃなくて、おじいちゃん、おばあちゃんの集まる場所なので、そこで世代間の交流も生まれ、ママ友もできるかなと思います。

**【井出市長】**

根上地区は遊ぶ公園が少ない。そのような目を見たことがなかったので、1度見てみます。

**【市民】**

ちょっと贅沢な希望なのですが、この辺の地区は、冬になるとなかなか外で遊べないことが多いので、室内でアスレチックとか体を動かせるような、何か施設があるとすごくうれしいなと思っています。

**【井出市長】**

よくそのような話を聞きますが、例えば、児童館はそれにはならないですか。

**【市民】**

そうですね。体を動かすだけでなく、アスレチックや滑り台などがほしいです。

**【市民】**

やっぱり、日曜日は児童館もやっていないので。天気が悪い日にどこに遊びに行こうってなります。

**【子育て支援センター長】**

日曜日、児童館は順番に必ずどこか開いているということをご存じですか。

**【市民】**

たまに児童館は行きますが、児童館では小学生が集まってボール遊びや鬼ごっこなどをしていて、2歳の息子は、ちょっと倒されたりとか、けがをしたりすることがあります。

**【子育て支援センター長】**

小さい子のお部屋も別にありますがそちらはいかがですか。

【市民】

そこだったら、走り回れないのです。

【井出市長】

そうですか。

【市民】

お風呂を夫が入れてくれています、洗い方など、どこまで知っているのかがわからないのです。市では父親教室などもあります、あまりメジャーでないというか、夫は行かなくて、もう少し父親が協力的になるような、目を引くようなものがないかなと思っています。

【井出市長】

大事ですね。やっぱり子育てはご主人にも協力してもらわないといけないですよ。ご主人に来てもらえるようなメニューも1回抽出してみて、何か考えますね、ご主人に伝えてください。開催したら絶対に来ていただくように。

【市民】

私、去年、妊娠中に名古屋市から能美市に主人の転勤で引っ越してきました。

能美市は子育てがとてもしやすいよって、いろいろな人からも言われるし、私も今、すごく実感し始めているところです。普段、子供が遊べる、このような支援センターや児童館をほぼ毎日利用しています。そこでちょっと思ったことがあります。利用するようになったのは子供が8カ月になってからでした。ちょっと利用のデビューが遅くて、それまで利用しなかったのは、どういう場所なのかとかわかりにくく、周りの人に聞きたくても、そのときまだ知り合いも全然いなかったからです。もうちょっと早く知ることができていたら、もっと早くから遊びにこさせられたです。能美市のホームページなどを見てみたのですが、ちょっとわかりにくく、写真がもっと載っていたら、こういうところなのかとわかると思います。イベントなどをやっているのはわかるけど、普段気軽に行ってもいいのかとか、そういうこともわからなかったです。そういうことがわかりやすかったらいいと思います。

さっきも話題に上がっていた日曜日も開いている児童館がありますが、調べるのにかなり時間がかかって、わからなかったです。小松市のホームページだと第3何曜日、日曜日がお休みと、一覧になってすごくわかりやすく載っています、能美市のホームページもそのように、いつ開いているかなどもう少しわかりやすかったら利用しやすくなると思いま

す。

【井出市長】

おっしゃったことは、今後、改善するようにします。能美市のホームページを見ると「ママフレ」というページで、一面に出てきます。そこに行くまでになかなか時間かかるということですか。

【市民】

私は時間がかかってしまいました。

【市民】

私も今朝、能美市のホームページをチェックしてきました。トップページにも子育てについてみたいところがあったらいいと思います。うちの夫も、能美市の何かを調べようと思っても、次々と開いて、あ、違ったとか、そんな感じです。

【井出市長】

ホームページのアクセスのしにくさは皆さんに指摘をいただきましたので、大幅にリニューアルします。また、皆さんに教えていただきながらすすめてまいります。

また、4カ月検診のときに皆さんにお配りしていますが、子育て情報を記載した印刷物があります。この印刷物についても、いれて欲しい情報や見やすい・伝わりやすいデザインがあったら教えてください。

【市民】

私は、妊婦のときに、そういうお知らせがあったらいいと思いました。

【市民】

私もそう思います。やっぱり生まれてからではなく、妊婦でまだ準備している時に知ることができたらいいなと思いました。妊婦のときは逆にあんまり相談するところがないので、みんな、どこでどうしているかなと思っても聞くことができません。私も自分で調べていました。妊婦の時期に、もうちょっと何かためになるような情報があればと思いました。

【井出市長】

なるほど。妊婦の方にもお知らせしているとは思いますが。

【市民】

母子手帳を初めてもらいに行くときは、何もわからない状態です。そのときにもらったものをうちに帰って読んで、これはどういうことだろうと思ったときに、窓口もいろいろ、

子育て支援課、健康推進課などあるので、わかりづらいです。

【井出市長】

わかりました。これはおっしゃるとおりですね。ほかにはありますか。

【市民】

産みたいと思うときに、病院が市外にしかなくて、それがちょっと大変でした。

【井出市長】

はい、産婦人科がない。そのとおりです。

【市民】

保育料のことで、下の子が保育園に入るとき、上の子が小4になります。そしたら、2人目の保育料が半額になる条件が、上の子が小学校3年生までとなっています。その線引きはなぜなのか。未満児を入れると保育料自体が高いのでもし半額になるのであればうれしいかなと思いました。

【井出市長】

保育園に入る子どもがどういった年代でどういった方が多いか、1回調べてみます。半額制度をつくった当時は小学校3年生までと設定しておけば、ほとんどの方が当てはまるだろうということだったのだと思います。やっぱり時代が変わると、第1子、第2子、第3子の年代の間隔が変わっているのかなとも思います。

【市民】

北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）について、留学生たちと交流を持っているので、すごく感じることです。能美市民でJAISTのこと知らない人も多いです。優秀な大学生が集まっている、しかも外国人がすごく多いということを、知らないのはもったいないです。国際交流ということもありますし、子供たちの世代がJAISTの学生たちと触れ合う、勉強を頑張ってきた、未来ある学生たちと触れ合う機会があればいいかなと思います。

JAISTフェスティバルというのがあって、それに行けば触れ合うことができます。ただ、JAISTの学生たちに聞くと、何かあんまり生徒は外に出てほしくないという校風があると言うのです。封鎖的な雰囲気があって、出にくいという留学生が多いです。

能美市民も交流を持たないということで、お互いにもったいないと思います。背中を見せているような感じがして、そこはどうなのかなと思います。

【井出市長】

まず、学長さん初め、JAISTの先生の多くは全く間逆で、どんどん国際交流しましょうと言っています。

実は今、能美市民の人口もふえており、外国人の方も少しふえています。それは、JAISTが留学生をたくさんとっているという背景もあります。学長とは、もっと能美市の皆さんと触れ合う機会をふやしましょうという話もしていますが、実態を一回調べてみます。

**【市民】**

私は両親がすぐに行けるところにいません。自分が何か急に体調が悪くなったときに、頼るところがどこかあるのかが、よくわかっていません。

**【子育て支援センター長】**

ファミリー・サポート・センター（育児の援助を受けたい依頼会員に育児の援助に協力できる会員を紹介する事業）があります。

**【市民】**

急でも大丈夫ですか。（協力会員に）子どもを預けることができるということは知っています。でも、朝起きて急にというのは、たしか無理だったかなと思うのですが。

**【子育て支援センター長】**

今日は、社会福祉協議会のファミリー・サポート・センター担当の方も来ています。

**【ファミリー・サポート・センター担当職員】**

事前に登録していただいて、打ち合わせ済んでいる方は協力会員さんがあいていれば、すぐに対応することができます。「今朝、具合が悪いのが対応してもらえますか」と、1本連絡いただければ、協力会員とコンタクトをとって、その方が「きょう行けるよ」ということであれば、すぐ行っていただくことは可能です。

**【市民】**

ファミリー・サポート・センターは知っていたのですが、急にというのは無理と思っていました。

**【ファミリー・サポート・センター担当職員】**

協力会員さん次第なので、お受けできないこともあるかもしれませんが、お受けできることもありますので、まず、登録していただければと思います。

**【市民】**

わかりました。ありがとうございます。

**【子育て支援センター長】**

皆さんはファミリー・サポート・センター登録されていますか。

**【市民】**

登録しようか迷ったことはあります。急に外出したいときは利用したいと思いますが、何かちょっと踏み出せない感じがあります。保育園は一時保育でよく利用していて、保育士さんはプロの方たちなので、安心なのですが、ファミリー・サポート・センターってよくわからないということがあります。

**【井出市長】**

ぜひ、この機会にご検討ください。

**【ファミリー・サポート・センター担当職員】**

事前に協力会員さんとは私とお子さんも含めて、最低4人でお話しします。協力会員の方のお宅でお預かりということになっていますが、お母さんが不安だということであれば、子育て支援センターでもお預かりしている場合があります。

**【市民】**

そうなのですね。わかりました。

**【ファミリー・サポート・センター担当職員】**

なかなか病院に行けないという方も多いので、歯医者さんなどに行っている間、預かっていることもあります。

**【市民】**

あともう一つ、能美市は家を建てる土地がないです。新規の人が入ってくる住宅街が少ないです。新しい土地がないので土地を探すのにすごく苦労して、結局、親の土地がある人だけが住めるというのが現状じゃないかなと思います。

**【井出市長】**

今、企業誘致がすごく旺盛、好調です。そこで働く人も、能美市に住んでもらいたいと思います。今おっしゃったような住宅地を確保するというのも今後考えていきたいなと思っています。

**【市民】**

里山ファンクラブの方が辰口地区の一部の保育園とつながりがあって、とっても素敵だなと思っています。私の住んでいるところは根上なので、根上地区でもそんなふうに自然を守っている人たちとつながりがあったら素敵だなと思いました。

**【井出市長】**

ご存じかもしれませんが、「能美の松原サポートクラブ」は海岸林を守っていらっしやあって、例えば、根上中学校の子供たちと一緒に松の苗を植えたり、その松は自分が植えたということ、九谷焼のプレートで印したりしています。それから、海岸林付近の北陸自動車道の防音壁には根上中学校の美術部の子たちが絵をかいています。そんな取り組みをしているので、もしよかったらご紹介します。参加してみてください。

**【市民】**

ありがとうございます。またそれも見させてもらいたいと思います。大きくなってくるとそうやってつながれるのかなと思って楽しみですが、やっぱり小さいときに、何かいろんな自然と触れ合える環境があれば、また、いろんな人のサポートを得られたら、もっと保育もしやすく、そういうところにも行けるのかなと思います。

**【子育て支援センター長】**

本当にたくさんのご意見を出していただき、ありがとうございました。

**【司会】**

きょうは、どうもありがとうございました。最後に、井出市長からご挨拶をお願いします。

**【井出市長】**

貴重なご意見、ご提言をいただきまして、ありがとうございました。

気がつかなかったこともたくさんありますし、それから、こんなことをしていけば皆さんに本当に喜んでいただけるのではということも、非常にたくさんの方に気づかせていただきました。

きょうは市の職員も来ていますし、それから子育て支援に実祭に携わっている方も来ています。今後も、直接私に言っていただいてもかまいませんし、それから、きょう来ている職員に、どんなことでも、ちょっと気がついたことでもいいので言っていただければなと思います。すぐに実現できることもあれば、言ったのに市長はなにもしてくれないということもあるかもしれません。しかし、思いとしてはしっかりと受けとめさせていただきますので、少しでも実現できるように取り組んでいきたいと思っています。ぜひ、お母さん方、そして、お子さん方、そしてご主人も笑顔でずっと暮らしていただけるような能美市にしていきたいと思っています。今後とも、ぜひ皆さんにも能美市のファンになってもらって、能美市っていいところだよということをお願いできればなということもお願いします。



きょうは、どうもありがとうございました。